

2008 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 人間人社3回生	担当者 中山 貞敏
授業テーマ ビジネス・考える力		
授業の概要と目標 知識の獲得そのものより、必要に応じて知識を獲得できるエンジン(意志力と考える力)の養成に力を注ぎたいと思います。なぜならこの力こそがビジネスで求められる能力だからです。また、「面白くなければ学ぶ価値は無い」をモットウにします。(ただし「面白い＝簡単」ではない！ ゼミ生に「しんどいけれど面白かった」といわれるゼミが理想)		
評価方法 ゼミの場で発表や意見表明などゼミへの貢献度とレポートにより評価		
テキスト 論文の教室 レポートから卒論まで	著者 戸田山和久	出版社 NHK ブックス
参考書 適宜指示します	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ゼミの進め方 前期⇒ビジネスに関する幾つかのテーマの中から、ゼミの研究テーマを設定していきます。そのテーマ沿った材料（本、ビデオなど）を教師が提供し、ゼミ生が追加調査・レポーティング・プレゼンテーション・討議などを行ってビジネスのセンスと力を高めていきます。テーマとしては、地球温暖化、ブリックス諸国の台頭と資源食糧の枯渇など今後のビジネス環境に大きなインパクトを与えると考えられるものを候補として提供していきます。 後期⇒前期のゼミや実習での体験の中から自らの興味を持ったテーマを選択して、調査研究しプレゼンテーションしてもらいます。この中から卒論のテーマもみえてきます。 1 回 ゼミ活動に関するガイダンス・お互いを知る 2 回・3 回 論文の書き方に関するレクチャーとテーマ設定のための材料提供 4 回 各自の興味に基づくテーマ設定 5 回～10 回 研究の経過報告と議論・指導 11 回～14 回 研究発表と議論 15 回～17 回 地域研究実習や前期の研究の中から自らのテーマ設定(個人またはグループ) 18 回～25 回 経過報告と議論・指導 26 回～29 回 プレゼンテーションと質疑応答 30 回 まとめ ゼミでは、講義とは違い、作業も発表も主役は学生です。このことを十分自覚して取り組んでほしいと思います。また、ビジネスのスタイルに慣れてもらうため、各人の持ち回りで進行役・ゼミ記録作成などの役割を割り振ります。		